

# 広域連合だより

構成市町村

日向市

門川町

美郷町

諸塚村

椎葉村

【第51号】

令和8年3月発行

日向東臼杵広域連合

〒883-0034

日向市大字富高2192

TEL(0982)53-3401

FAX(0982)52-7889

http://hyuga-kouiki.jp/

## 「第6向日向東臼杵広域連合広域計画」を策定しました (令和8年度～令和12年度)

広域計画は、広域連合が行う施策の指針を示す最上位計画です。正副連合長会議や広域計画策定等委員会において、これまでの第5次広域計画(令和3年度～7年度)の5年間の事務事業を検証し、内容の見直しを行いました。

今回の「第6次広域計画」は、令和8年第1回広域連合議会(令和8年2月16日)で議決されました。

### 計画の基本方針

圏域住民の生活環境の保全、公衆衛生の向上および住民福祉の増進を図るため、以下の4点を基本方針とします。

- ①安全で安定した施設の管理・運営及び設置
- ②事務事業の効率化・公平化
- ③住民サービスの向上
- ④関係市町村や関係機関・団体との連携の充実



### 主な施策の展開

#### ○ごみ処理施設の設置・管理・運営に関すること

- ・清掃センターの適正な管理と長寿命化の推進
- ・安定した処理による環境負荷の低減
- ・次期焼却施設整備の検討

#### ○一般廃棄物最終処分場の設置・管理・運営に関すること

- ・一般廃棄物の次期広域最終処分場の整備
- ・関係機関等との連携推進と情報公開

#### ○火葬場の設置・管理・運営に関すること

- ・安全で安定した施設の管理運営
- ・利用者サービスの向上と環境改善
- ・関係機関との連携強化と情報公開



各種計画の詳細については、広域連合ホームページで公表しています。

## 「第4向日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画」を策定しました (令和8年度～令和12年度)

東郷霊苑は、平成17年の供用開始以来、圏域唯一の火葬場として重要な役割を担ってきました。施設の老朽化に伴い、令和8年度から12年度までの5年間を対象とした「第4次管理運営中期計画」を策定し、安全で快適な環境の維持を図ります。

### 計画の概要

- ・圏域の人口は減少傾向で、令和12年度には約7万5千人に減少見込み
- ・火葬件数は令和6年度は1,456件だが、今後は減少と予測
- ・運転管理は有資格者が担当し、定期点検や避難訓練を実施して安全を確保
- ・設備の修繕・更新を計画的に進める



# 次期広域最終処分場の検討状況について

整備基本計画内容に関する  
住民説明会

10月28日  
(西郷ニューホ  
ープセンター)

## 【主な内容】

- ・基本計画に関する背景及び目的
- ・基本方針
- ・埋立計画、建設候補地の地質、施設の主な計画について
- ・跡地利用について
- ・概算工事費と財源内訳について
- ・事業スケジュールについて
- ・懸念事項への対応等について

## 【主な意見】

- ・基本同意に基づき、計画どおりに進めてほしい。大事なことからので説明を聞くことができて良かった。
- ・十分検討して適地を選定したと思ってい
- る。事業費は高いが、安全のためには仕方ないと思う。
- ・今後の建設同意結果を踏まえ、着実に建設が進められるよう、今後も丁寧に説明してほしい。



会議の詳細・アンケート結果は、広域連合ホームページで公表しています。

## 第9回建設検討委員会

12月23日  
(西郷ニューホ  
ープセンター)



## 【主な内容】

### ◆基本設計中間報告

今回内容を説明した施設は左記のとおりです。

- ① 搬入道路基本設計
- ② 埋立基本設計
- ③ 浸出水処理施設基本設計
- ④ 貯留構造物・埋立造成設計
- ⑤ 遮水設計
- ⑥ 浸出水集排水及び取水導水施設設計
- ⑦ 地下水集排水施設設計
- ⑧ ガス抜き施設設計
- ⑨ モニタリング施設設計
- ⑩ 洗車設備設計
- ⑪ 電気、通信設備設計
- ⑫ 門扉困障設計
- ⑬ 整備工事の発注形態について

その他は次回の建設検討委員会で説明予定です。

・搬入道路は町道（国道側）から進入します。

・埋立地の高さを10メートルから12メートルへ変更。これに伴い、埋立面積が減少し、全体埋立容量は二千方メートル程減少となりました。（廃棄物容量は変更なし、覆土量が減少）

・埋立地内に洗車スペースを設置します。（高圧洗浄機）

・浸出水処理能力は1日22立方メートル。高度処理を含む水処理後、きれいにした水を耳川へ放流します。

・貯留施設は二重遮水シートを採用し、漏水検知は内部を8区画に分けて特定性を高める構造とします。

・ガス抜き、散水設備、監視カメラ等の付帯設備を計画。

◆測量調査及び補償調査の中間報告  
今年度から実施している測量調査及び立竹木・工作物等の補償調査の中間報告を行いました。



▶測量調査の様子



▶補償調査の様子

## ■ ■ ■ 清掃センターでのごみの投入方法について ■ ■ ■

ごみを持ち込んだ人が「ごみピット」に転落する事故が起きています。次の注意を守り、安全に作業してください。

**注！意**

- ①ごみを入れるときは、転落の危険性が少ないダンピングボックス（右写真参照）を利用してください。
- ②ダンピングボックスがいつぱいで使えないときなど、やむをえず投入扉から入れる場合は、備え付けの安全ベルトを必ず着けて作業してください。
- ③プラットホームでは、場内の注意表示や係員の指示に従って作業してください。



▲ダンピングボックス

## ～次期焼却施設（清掃センター）の検討を始めました～

現在の清掃センターは平成3年に稼働開始し、35年が経過して老朽化が進んでいます。

人口減少やリサイクルの進展でごみの量は減っていますが、施設の延命には限界があり、新たな施設の整備が必要です。新しい施設では、環境に配慮しつつ安全で効率的なごみ処理を目指し、災害時にも対応できる体制を整えます。

今後は処理方法や場所、事業規模等について慎重に検討し、地域の皆さんの理解を得ながら進めていきます。安心して暮らせる環境づくりのため、引き続きご協力をお願いします。



### 議会だより①

#### 令和7年第3回定例会

令和7年11月17日（月）、令和7年第3回定例会が開催され、議案2件についての審議が行われました。

#### 議案第3号

##### 公平委員会委員の選任について

###### ―原案同意―

公平委員会委員に稲田利文さん

（2期目）が選任されました。

#### 認定第1号

##### 令和6年度日向東白杵広域連合

##### 歳入歳出決算

###### ―原案認定―

##### ～一般質問（抜粋）～

##### 柏田公和議員（日向市選出）

【Q】最終処分場の埋立て方式を被覆型に決定した理由は。

【A】被覆型は屋根があり浸出水処理や生活環境への影響が少なく、降水量が多い本地域では経済的にも優位である。また、地域住民の多くが被覆型を希望し、気候変動による大雨増加にも対応可能であるため、被覆型を選定した。

その他3件の質問がありました。

##### 河野ひとみ議員（日向市選出）

【Q】清掃センターの建て替え計画と緊急修繕の状況は。

【A】清掃センターは供用開始から34年。令和6～8年度に基幹的設備改良工事を実施し、令和20年度までの運用を目指す。緊急修繕が必要な場合は迅速に対応している。次期焼却施設整備は令和6年度から検討を開始し、今年度中に処理システムを決定予定である。

その他2件の質問がありました。

#### 全員協議会

定例会後、全員協議会を開催し、「第6次日向東白杵広域連合広域計画」についての中間報告を行いました。この計画は、令和8年第1回定例会で上程・可決されました。



会議録については、広域連合ホームページで公表しています。



### 議会だより②

#### 令和8年第1回定例会

令和8年2月16日（月）、令和8年第1回定例会が開催され、議案4件についての審議が行われました。

#### 議案第1号

##### 第6次日向東白杵広域連合 広域計画の策定について

#### 議案第2号

##### 令和7年度日向東白杵広域連合 補正予算（第1号）

#### 議案第3号

##### 令和8年度日向東白杵広域連合 予算

###### ―すべて原案可決―

#### 議案第4号

##### 監査委員の選任について

###### ―原案同意―

美郷町議会の改選により、議会選出監査委員に山本文男議員（美郷町議長）が選任されました。

【Ｑ】清掃センターにおける一般搬入者がごみを投入する際の安全確保、特にピット内への落下防止対策について。

【Ａ】清掃センターでは、これまでに４件の転落事故があり、うち２件は昨年１２月。現在は転落の危険が少ない「ダンピングボックス」という投入口の利用を基本とし、それ以外の投入口を使う場合は安全ベルトの装着を求めるなどの追加対策を講じている。

その他１件の質問がありました。

河野ひとみ議員（日向市選出）

【Ｑ】清掃センターや東郷霊苑での避難訓練の実施状況は。

【Ａ】火災や地震を想定した避難訓練を毎年行っている。今後、訓練やマニュアルの見直しを続け、安全・安心を確保する。その他２件の質問がありました。



会議録については、５月に広域連合ホームページで公表予定です。

## 令和８年度 予算

令和８年度の予算総額は１０億５,４００万円となり、令和７年度当初予算に比べて６,６５０万円（５.９％）の減額となりました。

新規事業として「次期焼却施設整備事業」を、継続事業として「清掃センター基幹的設備改良事業」「最終処分場整備事業」などを計上しています。

また、清掃センター及び斎場の運転管理業務委託費や施設の管理運営費、維持補修工事費も計上しています。

### 歳入の主な増減

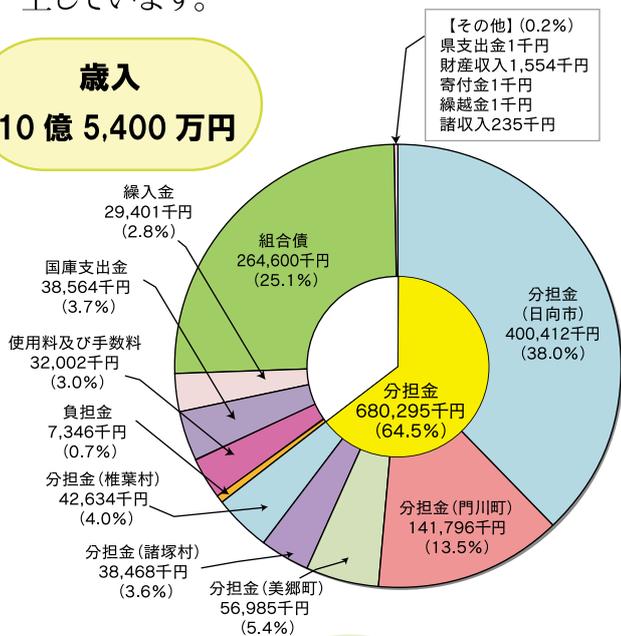
#### ◇負担金

ごみ処理施設交付税措置分及び下水道汚泥処理負担金の増額により、前年度比 111.9% 増の 734 万 6 千円となっています。

#### ◇国庫支出金

次期広域最終処分場の整備に係る循環型社会形成推進交付金の減額により、前年度比 24.7% 減の 3,856 万 4 千円となっています。

歳入  
10 億 5,400 万円



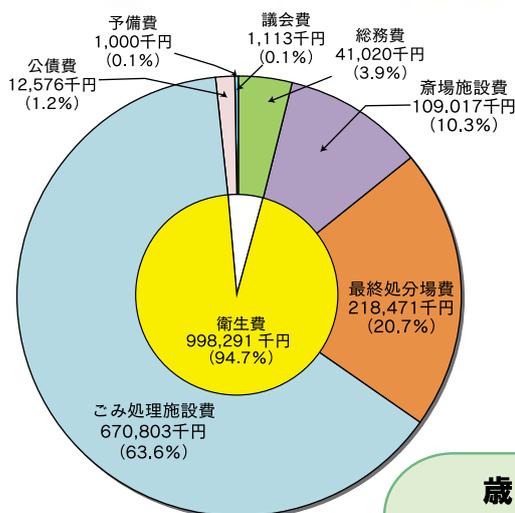
### 歳出の主な増減

#### ◇衛生費

最終処分場費は、施設調査等委託料の減額及び派遣職員給与負担金の減額により、前年度比 12.7% 減の 2 億 1,847 万 1 千円となっています。

#### ◇公債費

清掃センター基幹的設備改良事業に係る組合債の利子の増額により、前年度比 107.3% 増の 1,257 万 6 千円となっています。



歳出  
10 億 5,400 万円

### 【編集後記】

梅の花が美しく咲き、春の暖かさを感じる季節が今年もやってきました。なんとなくですが、春が近づいて来る度に、「光陰矢の如し」を実感することが強くなってきています。人によって「時」に対する感覚は違いますが、短くとも自分に与えられた一瞬一瞬を大切にしながら、これからも前向きに進んでいきたいと思ひます。(K・Y)